

# 混廃増と省力・省人化に対応

ミチウエ

## 高精度選別ライン導入

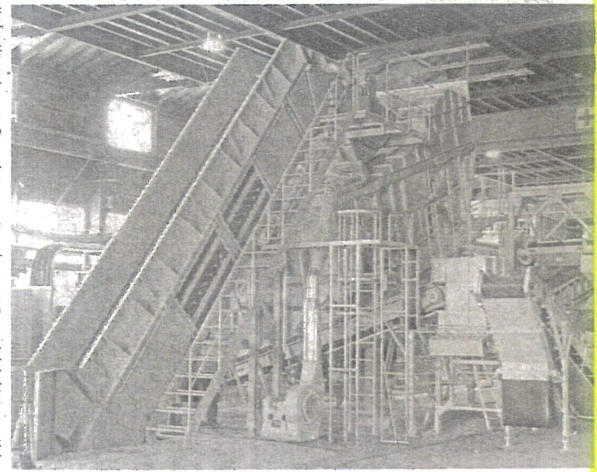
### 札幌圏に中間処理拠点

建廃処理などが主方のミチウエ（エコ事業部・新港南工場・北海道石狩市道上仁社長、☎01333・77・7577）は、新港南工場内に混合廃棄物の精選別施設を新設。先月から営業運転を開始した。解体・建設工事の需要が底堅い札幌圏に中間処理拠点を構え、過去3年間で混廃などの搬入量が増加傾向にあった。一方、人手不足と働き方改革への対応で、ヤード内での人手による分選別の

（前選別・土間選別）の軽減も課題となっており、今回の施設導入に至った。

機械選別とベルトコンベヤの手選別ラインを組み合わせたもので、設置に際して北海道循環資源利用促進税事業の補助制度も活用している。土間選別で混廃から15角以上の

度選別する。エレメントが偏心したシャフトの回転による前後振動の揺動運動で、傾斜した本体上部の方へ反発しない軽量物を送り、本体下部へは反発する重量物が運ばれる構造になっている。



新規導入した高精度選別ライン

れた混廃は磁選を経て、重量物と軽量物の各手選別コンベヤラインに送られる。不燃物リッチの重量物ラインでは、木くずや紙くずなどの可燃物を抜き取り、残さを安定型処分場に搬出する。可燃物リッチの軽量物ラインでは塩ビやクロスなどの燃焼不適物を除き、得られた良質の可燃物をサーマルリサイクル向けに搬出する。1日7時間稼働で日量210立方メートルの選別能力がある。道上社長は「建廃などの受入実績は3年前の月平均6000立方メートルから9000立方メートルに伸び、最近は一立方メートルを超え始めている。外部処理費の高騰が課題になっていたが、機械選別の導入で管理型処分量を40%ほど減らせる見通しだ。今後は品質重視で受け入れる混廃を選定し、搬入量も8000立方メートル程度に絞り、選別後物の再資源化促進と2次処理費の低減につなげた。新機種の導入で、混廃の1日の土間選別量を従来の320立方メートルから110立方メートルに減らすことができた。省力・省人化の効果も大きい」と語っている。

新港南工場は石狩市臨海部の工業団地内に立地し、1万1500平方メートルの敷地に床面積約5000平方メートルの建屋を設け、屋内に選別・破碎・圧縮などの機器装置群や分選別ヤードのスペースを設けている。破碎施設は日量180・048トンの処理能力で、許可品目は安定5品目と木くず・紙くず・繊維くず。圧縮施設は日量12・16トンの処理能力で、廃プラスチック類・紙くず・繊維くずを処理対象としている。

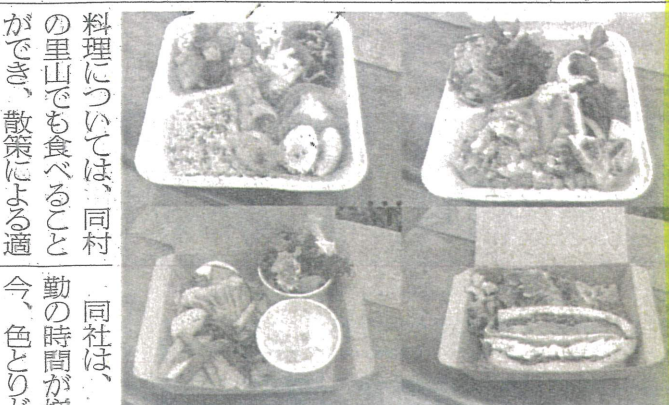
### 石坂産業

## 在宅や内勤者に健康的な料理を

### デリバリーなど開始

石坂産業（埼玉県三芳町、石坂典子社長、☎049・259・5800）は4月16日、新型コロナウイルスの影響で外出自粛が続く中、同社の運営するサステイナブルフィード「三富今昔村」で提供している料理をテイクアウトとデリバリー

とを明らかにした。三富今昔村は「くぬぎの森」や同社施設見学などでさまざまな自然体験や環境学習ができるフィールドであり、石坂オーガニックファームで育てた有機栽培の旬野菜を使用し、料理を、四季折々の味覚で楽しむ食育プログラムとして提供しており、これらのテイクアウトについて要望があったという。これを受けて「おいしい体験」の中でも人気の高いメニューと、三富今昔村内の本格的ピザ窯を備えたPIZZAZA+GOYAで焼くピザの特別販売を企画した。



色とりどりの有機野菜を使った人気メニュー

料理については、同村の里山でも食べることができ、散策による適今、色とりどりの有機野菜を満点な料理で、健康を維持していただきたい」としている。予約は電話（☎049・259・6565）もしくは交流プラザにて受け付け。デリバリーは同施設から車で20分圏内の地域にお住まいの方のみとし、電話のみ受け付けで5000円以上からとなる。ピザは土日限定、テイクアウトのみとなり、三富今昔村内の「PIZZAZA+GOYA」で11～15時の間受け付け